

【資料1】

第7期 第2回

令和6年7月12日（金）

令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況等について

1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(1) ごみ減量・リサイクルの状況について

(2) 可燃ごみの状況について

(3) 不燃ごみの状況について

(4) 粗大ごみの状況について

(5) 古紙等の状況について

(6) 施設への直接搬入について

(7) 取り残しごみの状況について

(8) まとめ

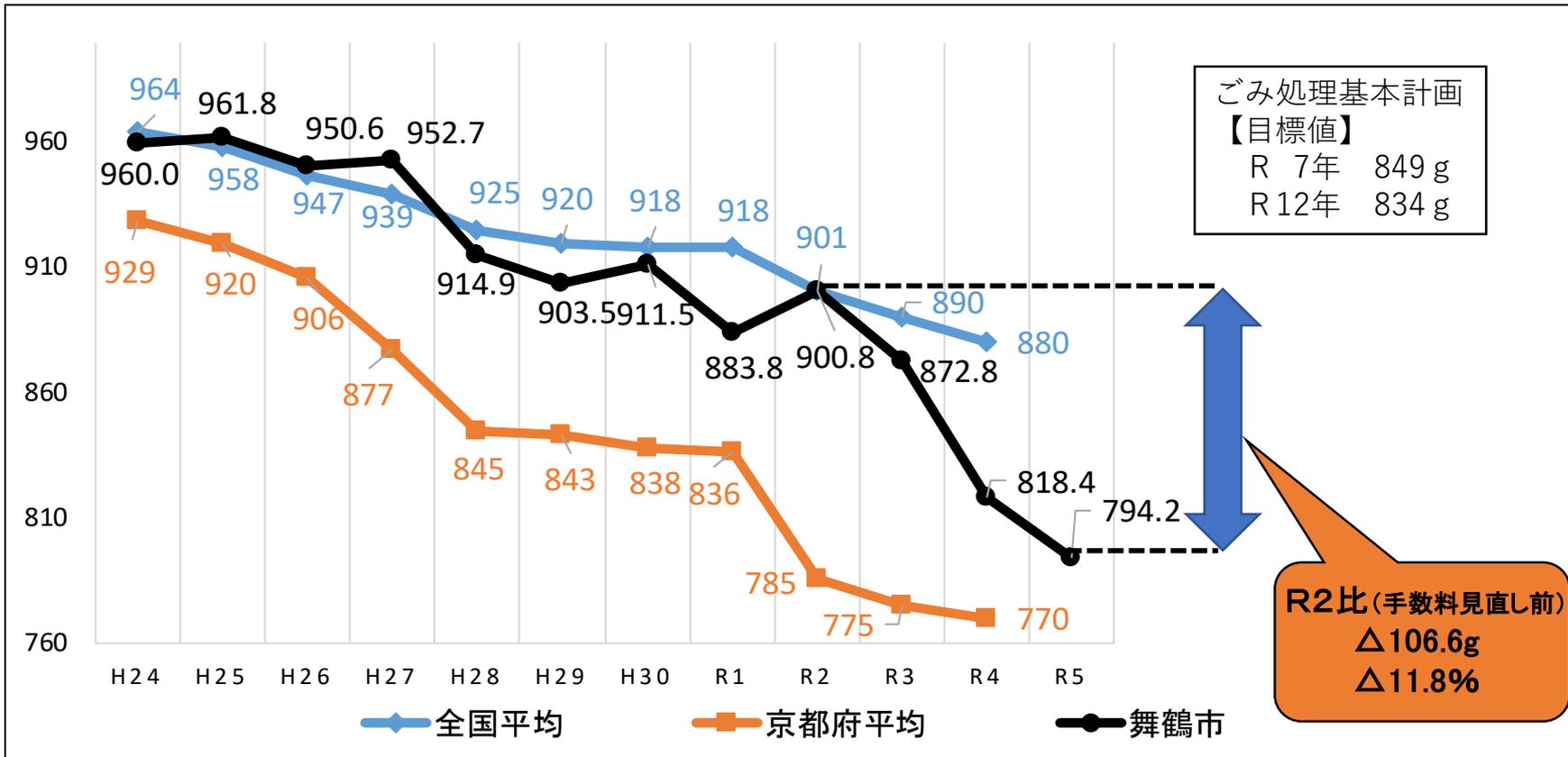
※本資料内の数値は速報値であるため、今後修正となる可能性があります。

1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(1) ごみ減量・リサイクルの状況について

① 1人1日あたりごみ排出量の推移について I

- ・ 令和5年度の1人1日あたりごみ排出量は通年で794.2g、前年比3%減。
- ・ 手数料見直し前の令和2年度と比較すると11.8%減となっている。
舞鶴市でのごみ減量は大きく進んでいるが、京都府内ではさらにごみ減量が進んでいる。

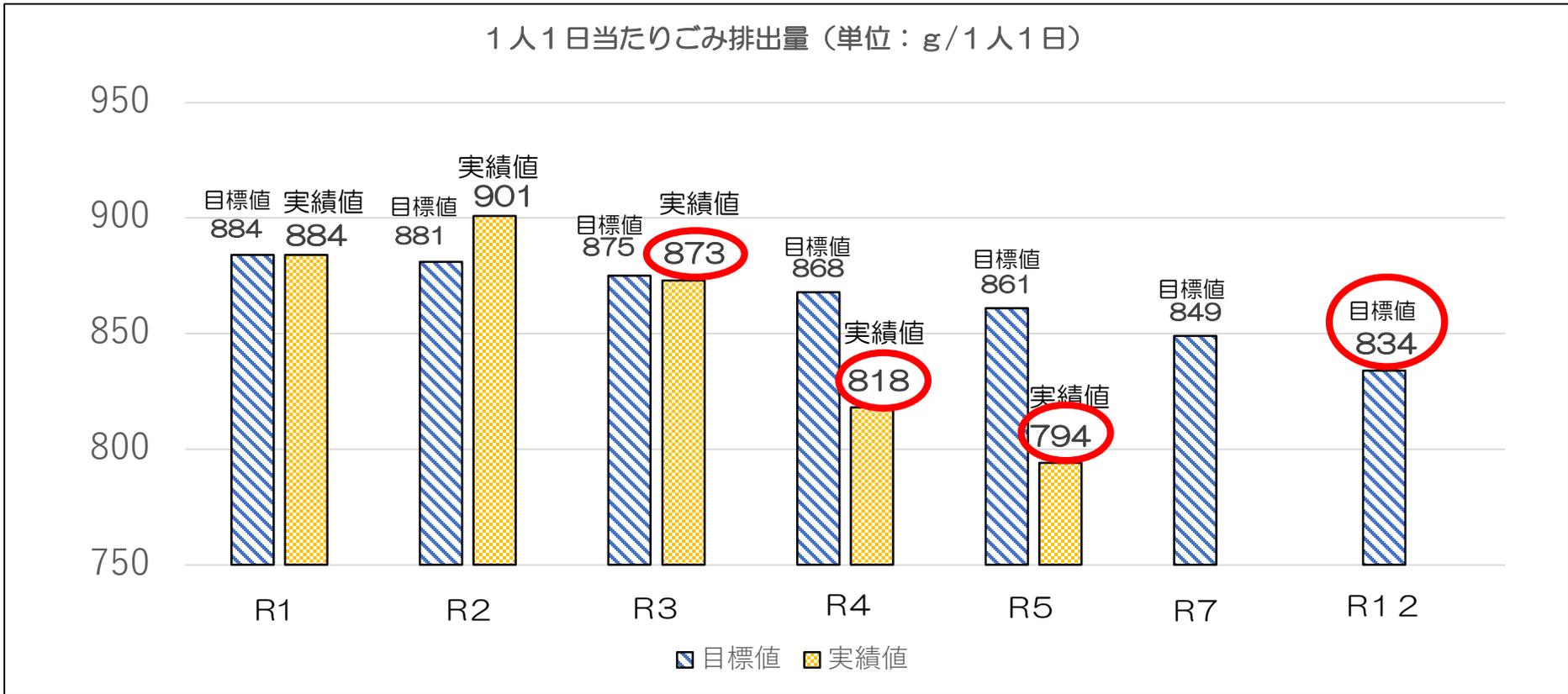


1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(1) ごみ減量・リサイクルの状況について

① 1人1日あたりごみ排出量の推移について II

- ごみ処理基本計画では、1人1日あたりごみ排出量の目標値を令和元年度実績884gから、令和12年度には834gとする目標を設定している。
- 令和5年度の実績は目標値を上回る794gとなっており、中間目標年度である令和7年度には目標値の見直しを検討。



1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(1) ごみ減量・リサイクルの状況について

②ごみ減量、資源化、最終処分の状況

- ・ 令和5年度の1人1日あたりごみ排出量、1人1年あたり最終処分量は減少しており、ごみ減量・埋立量の削減が進んでいる。
- ・ 引き続き、京都府内の状況を意識し取り組みを進める必要がある。

	舞鶴市				京都府	舞鶴市ごみ処理計画 R12(目標値)
	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	令和4年度 府内平均	
1人1日あたり ごみ排出量	900.8g	872.8g	818.4g	794.2g	770g	834g
資源化率	14.0%	14.1%	14.2%	※ 13.6%	14.7%	17.5%
1人1年あたり 最終処分量	52.0kg	52.3kg	44.7kg	44.3kg	36.4kg	41.6kg

※令和5年11月から清掃事務所において飛灰リサイクルを開始（令和6年3月までのリサイクル量：178.0 t）。令和5年度資源化率実績に含めると14.4%になる。

1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(1) ごみ減量・リサイクルの状況について

③ごみ排出量について

- ごみ排出量については、人口減少に伴い年々減少傾向にあるが、令和5年度の減少割合は大きくなっている。

※令和2年度から令和5年度の人口減少率：△5.0%

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	実績	実績	実績	実績	R2比増減
ごみ排出量(t)	26,219.2 t	24,985.7 t	23,066.2 t	22,030.3 t	△4,188.9 t △16.0%
可燃ごみ(t)	20,150.3 t	19,366.9 t	18,452.2 t	17,737.7 t	△2,412.6 t △12.0%
不燃ごみ(t)	3,025.3 t	2,846.5 t	2,249.7 t	2,124.1 t	△901.2 t △29.8%
粗大ごみ(t)	1,140.3 t	1,072.3 t	821.2 t	773.0 t	△367.3 t △32.2%
古紙等(t)	1,903.3 t	1,700.0 t	1,543.1 t	1,395.5 t	△507.8 t △26.7%

古紙等＝古紙直接搬入＋集団回収＋分別回収

1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(1) ごみ減量・リサイクルの状況について

④ 1人1日あたりごみ排出量について

- 令和5年度の1人1日あたりごみ排出量は、令和2年度比で106.6g減。全品目で排出量が減少しているが、粗大ごみでは28.8%減、不燃ごみでは26.3%減、古紙等23.1%の順で減少割合が大きい。

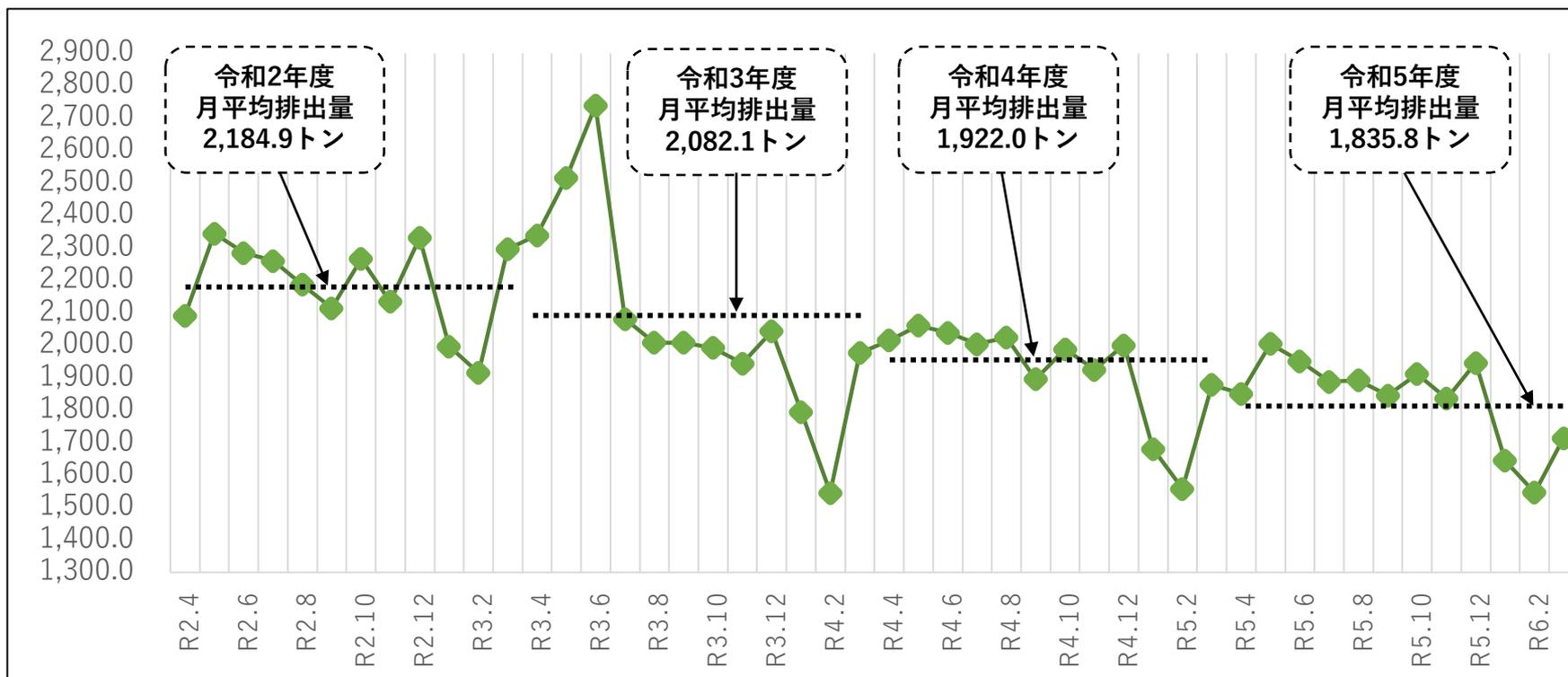
	R2	R3	R4	R5	
	実績	実績	実績	実績	R2比増減
1人1日ごみ排出量 (g/1人1日)	900.8g	872.8g	818.4g	794.2g	△106.6g △11.8%
可燃ごみ(g/1人1日)	692.3g	676.5g	654.7g	639.4g	△52.9g △7.6%
不燃ごみ(g/1人1日)	103.9g	99.4g	79.8g	76.6g	△27.3g △26.3%
粗大ごみ(g/1人1日)	39.2g	37.5g	29.1g	27.9g	△11.3g △28.8%
古紙等(g/1人1日)	65.4g	59.4g	54.8g	50.3g	△15.1g △23.1%

1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(1) ごみ減量・リサイクルの状況について

⑤ごみ排出量(全品目)の推移について(単位：t)

- ごみ月平均排出量は、手数料見直し前の令和2年度と比較し、月平均で349.1トン、16%減少している。



1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(2) 可燃ごみの状況について

①可燃ごみ排出量の内訳について(単位：t)

- ・可燃ごみは生活系・事業系の合計で12.0%減。
- ・特に、直接搬入量（生活系）が48.6%減少している。

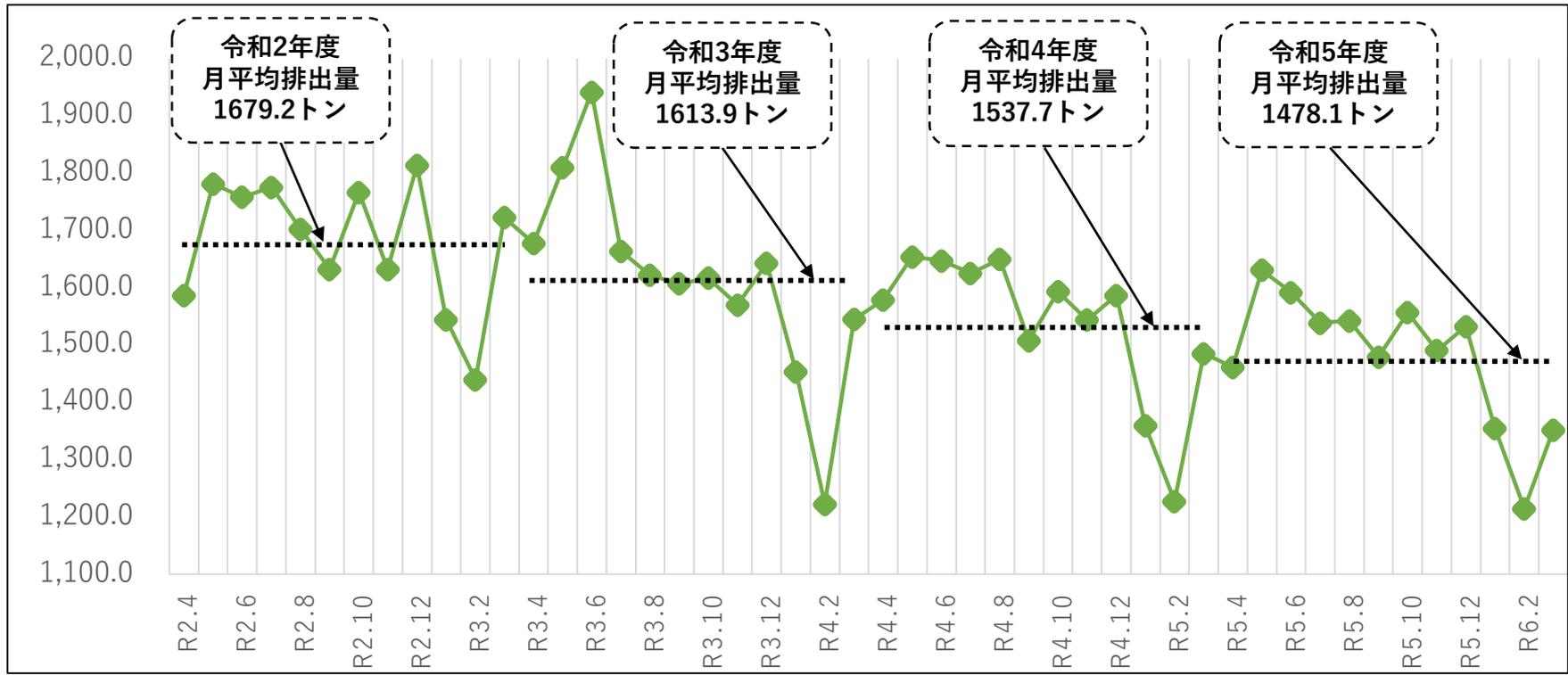
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		実績	実績	実績	実績	R2比増減
可燃ごみ排出量	生活系	13,312.5 t	12,574.8 t	11,976.4 t	11,485.0 t	△1,827.5 t △13.7%
	事業系	6,837.8 t	6,792.2 t	6,475.8 t	6,252.7 t	△585.1 t △8.6%
	合計	20,150.3 t	19,366.9 t	18,452.2 t	17,737.7 t	△2,412.6 t △12.0%
収集	生活系	10,385.7 t	10,496.5 t	10,471.9 t	9,979.8 t	△405.9 t △3.9%
	事業系	5,675.3 t	5,646.0 t	5,476.2 t	5,304.5 t	△370.8 t △6.5%
	合計	16,061.0 t	16,142.5 t	15,948.1 t	15,284.3 t	△776.7 t △4.8%
直接搬入	生活系	2,926.8 t	2,078.3 t	1,504.6 t	1,505.2 t	△1,421.6 t △48.6%
	事業系	1,162.5 t	1,146.1 t	999.6 t	948.2 t	△214.3 t △18.4%
	合計	4,089.3 t	3,224.4 t	2,504.1 t	2,453.4 t	△1,635.9 t △40.0%

1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(2) 可燃ごみの状況について

②可燃ごみ排出量の推移について(単位：t)

- 可燃ごみ月平均排出量は、令和2年度の平均と比較して12.0%減少。
季節的変動はあるが、ごみ減量効果は継続していると推測。



1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(2) 可燃ごみの状況について

③1人1日あたり可燃ごみ排出量について(単位：g)

- 令和5年度のごみ排出量は令和2年度と比較し、52.9g、7.6%減少。
生活系可燃ごみは43.4g、9.5%減。事業系可燃ごみは9.5g、4.0%減。
- 生活ごみの減少が大きく、市民のごみ排出行動やライフスタイルの見直しが定着しつつあると推測される。

	R2	R3	R4	R5	
	実績	実績	実績	実績	R3比増減
1人1日あたり 可燃ごみ排出量	692.3g	676.5g	654.7g	639.4g	$\Delta 52.9g$ $\Delta 7.6\%$
生活系可燃ごみ	457.4g	439.3g	424.9g	414.0g	$\Delta 43.4g$ $\Delta 9.5\%$
事業系可燃ごみ	234.9g	237.3g	229.8g	225.4g	$\Delta 9.5g$ $\Delta 4.0\%$

1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(3) 不燃ごみの状況について

①不燃ごみ(7種9分別)排出量について(単位：t)

- 不燃ごみ総排出量は令和2年度比で901.2 t、29.8%減少。
- 特に、埋立ごみが636.0 t、45.0%と最も大きく減少している。
- 指定ごみ袋制に移行した品目以外についても排出量が減少。
- 金属類と飲料用空缶類の減少率が3割を超えている。

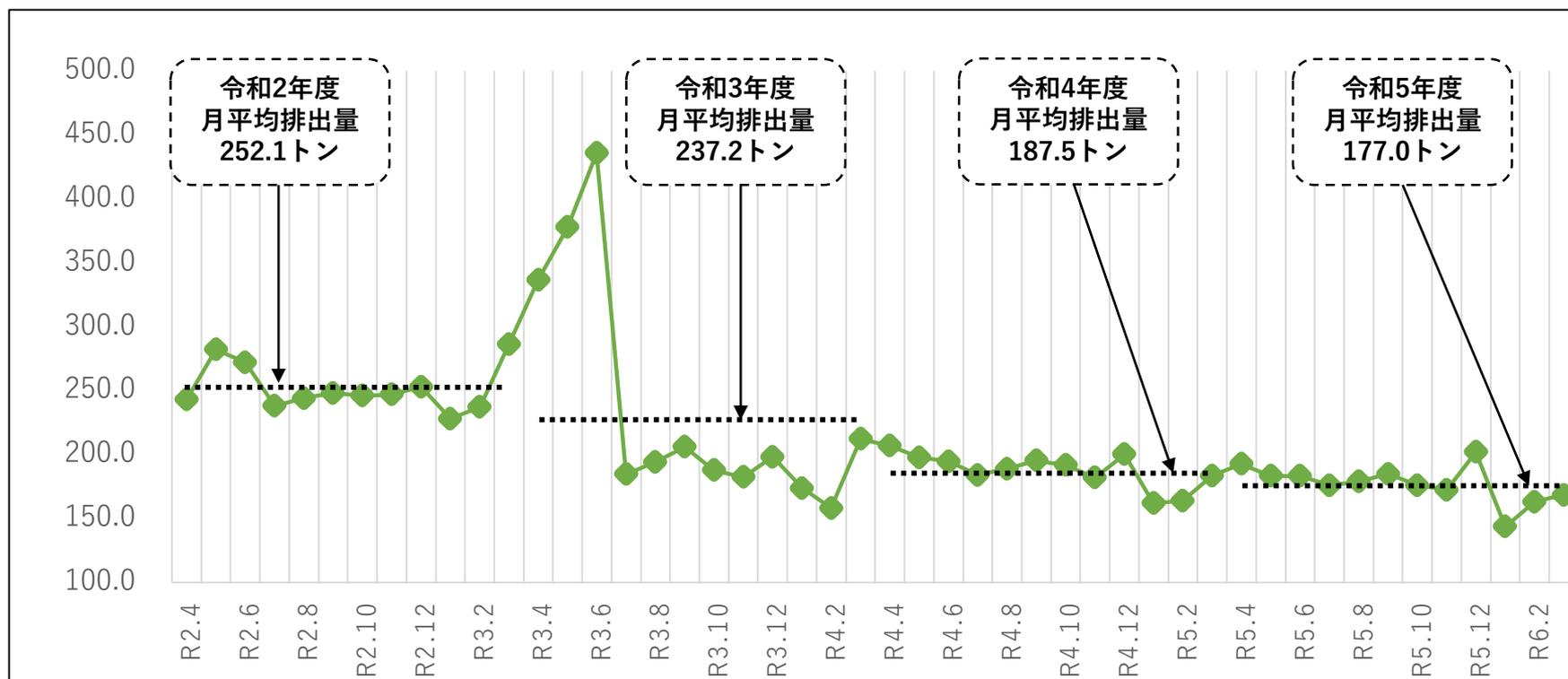
	R2	R3	R4	R5	
	実績	実績	実績	実績	R2比増減
不燃ごみ(7種9分別)	3,025.3 t	2,846.5 t	2,249.7 t	2,124.1 t	△901.2 t △29.8%
埋立ごみ	1,411.8 t	1,297.0 t	828.5 t	775.8 t	△636.0 t △45.0%
プラスチック 容器包装類	615.5 t	634.6 t	608.1 t	579.6 t	△35.9 t △5.8%
ペットボトル	182.2 t	148.0 t	140.5 t	135.9 t	△46.3 t △25.4%
金属類	252.1 t	231.8 t	162.3 t	158.7 t	△93.4 t △37.0%
飲料用空缶類	116.5 t	101.7 t	89.4 t	78.3 t	△38.2 t △32.8%
食用びん類	380.6 t	373.8 t	349.4 t	329.0 t	△51.6 t △13.6%
有害ごみ	66.7 t	59.6 t	71.6 t	66.7 t	△0.0 t △0.0%

1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(3) 不燃ごみの状況について

②不燃ごみ(7種9分別)排出量の推移について(単位：t)

- 不燃ごみ月平均排出量は、手数料見直し前の令和2年度の同時期と比較し、29.8%減少。令和4年度から季節的変動はあるものの安定的に推移している。



1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(3) 不燃ごみの状況について

③ 1人1日あたり不燃ごみ排出量について(単位：g)

- 令和5年度の1人1日あたり不燃ごみ排出量は令和2年度比で26.3%減。
- 有料化を実施した品目では、埋立ごみが42.3%、ペットボトルが22.2%、プラスチック容器包装類が0.9%減少している。
- ごみ処理手数料見直し後、ごみ減量効果は継続しているものと推測される。

	R2	R3	R4	R5	
	実績	実績	実績	実績	R2比増減
不燃ごみ(7種9分別)	103.9 g	99.4 g	79.8 g	76.6 g	△27.3 g △26.3%
埋立ごみ	48.5 g	45.3 g	29.4 g	28.0 g	△20.5 g △42.3%
プラスチック 容器包装類	21.1 g	22.2 g	21.6 g	20.9 g	△0.2 g △0.9%
ペットボトル	6.3 g	5.2 g	5.0 g	4.9 g	△1.4 g △22.2%
金属類	8.7 g	8.1 g	5.8 g	5.7 g	△3.0 g △34.5%
飲料用空缶類	4.0 g	3.6 g	3.2 g	2.8 g	△1.2 g △30.0%
食用びん類	13.1 g	13.1 g	12.4 g	11.9 g	△1.2 g △9.2%
有害ごみ	2.3 g	2.1 g	2.5 g	2.4 g	0.1 g 4.3%

1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(4) 粗大ごみの排出状況について

①粗大ごみ排出量、ごみ出し支援戸別収集の状況について

- 粗大ごみの排出量は、令和2年度と比較して32.2%減少。特に直接搬入量については、33.5%も減少している。
- 高齢者等ごみ出し支援戸別収集の申請件数は増加。利用者の休止・廃止が多いが、継続的に利用申請があり、利用は定着しつつある。

	R2	R3	R4	R5	
	実績値	実績値	実績値	実績値	R2比増減
粗大ごみ総排出量（単位：t）	1,140.3 t	1,072.3 t	821.2 t	773.0 t	△367.3 t △32.2%
直接搬入量(単位：t)	1,095.7 t	1,026.8 t	774.5 t	728.2 t	△367.5 t △33.5%
戸別収集量(単位：t)	44.5 t	45.5 t	46.7 t	44.8 t	0.3 t 0.7%
戸別収集利用件数（世帯数）	705件	821件	788件	792件	87件増
1人1日あたり 排出量（単位：g）	39.2 g	37.5 g	29.1 g	27.9 g	△11.3g △28.8%

	R2	R3	R4	R5	
	実績値	実績値	実績値		R3比増減
高齢者等ごみ出し支援戸別収集 利用件数（休止・廃止を除く） ※年度末時点	—	108世帯	148世帯	166世帯	58世帯増

1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(5) 古紙等の状況について

①古紙等排出量について(単位：t)

- 古紙等の排出量は、令和2年度と比較し26.7%減少。清掃事務所への直接搬入量が61.1%減となっている。

	R2	R3	R4	R5	
	実績	実績	実績	実績	R2比増減
古紙等	1,903.3 t	1,700.0 t	1,543.1 t	1,395.5 t	△507.8 t △26.7%
分別収集※1	698.3 t	728.7 t	680.7 t	628.2 t	△70.1 t △10.0%
直接搬入※2	594.0 t	390.6 t	243.0 t	231.7 t	△362.3 t △61.0%
集団回収※3	611.1 t	580.7 t	619.4 t	535.6 t	△75.5 t △12.4%

※1 不燃ごみ収集日の各ステーションでの排出量

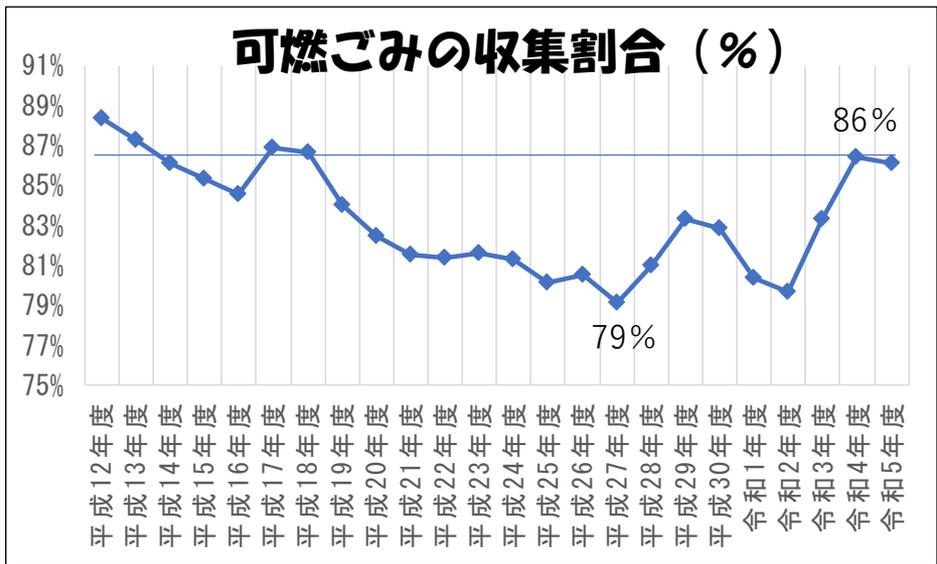
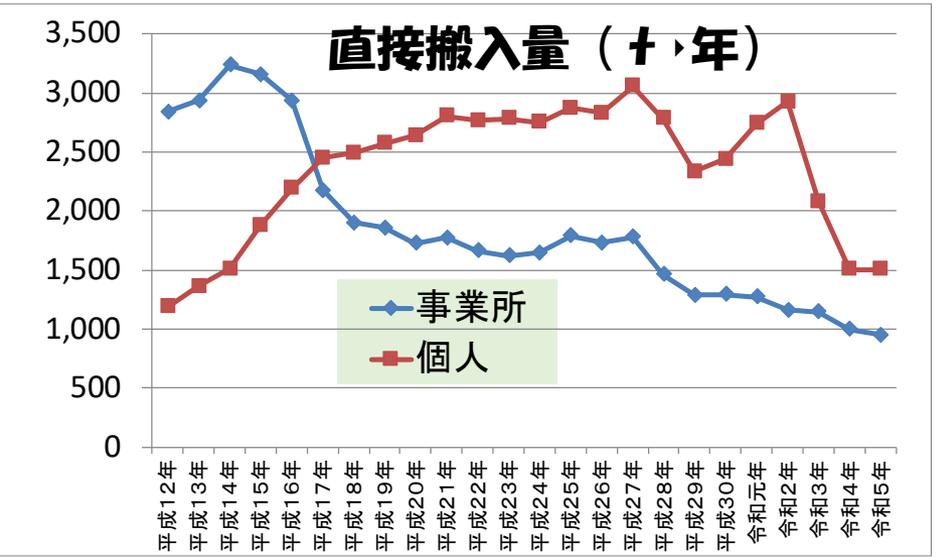
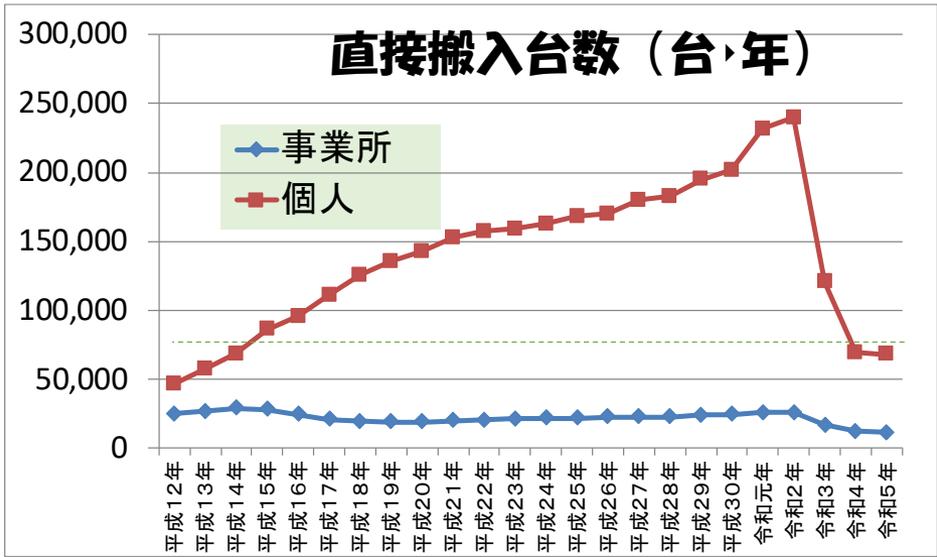
※2 清掃事務所への直接搬入量

※3 自治会や老人会等による自主的な資源回収活動による回収量

1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(6) 施設への直接搬入について

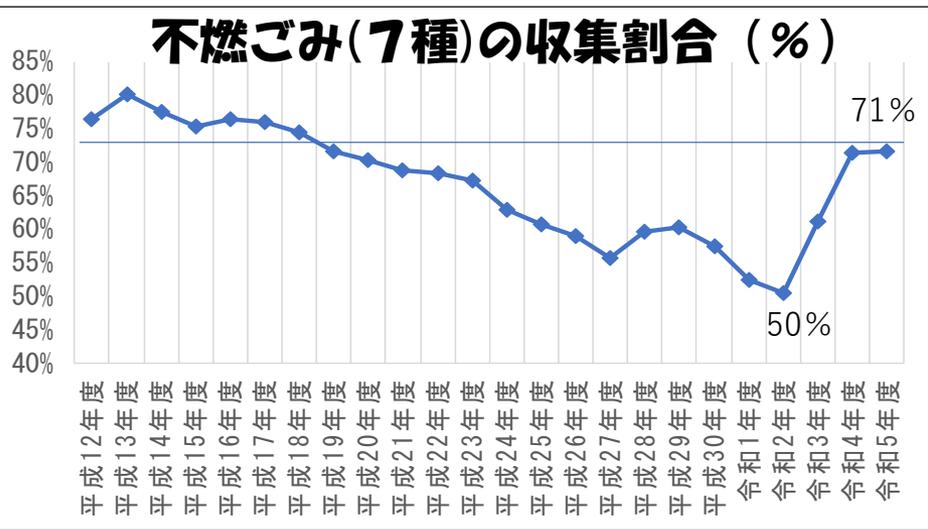
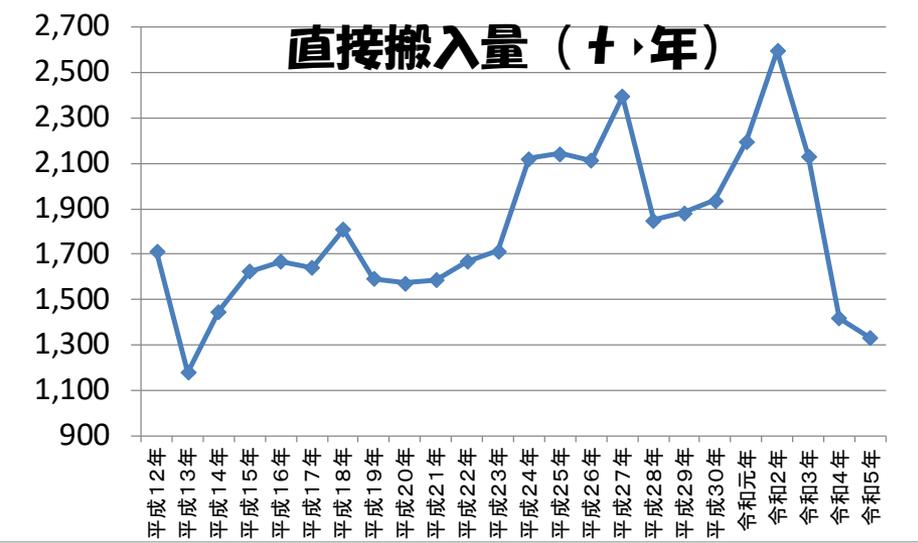
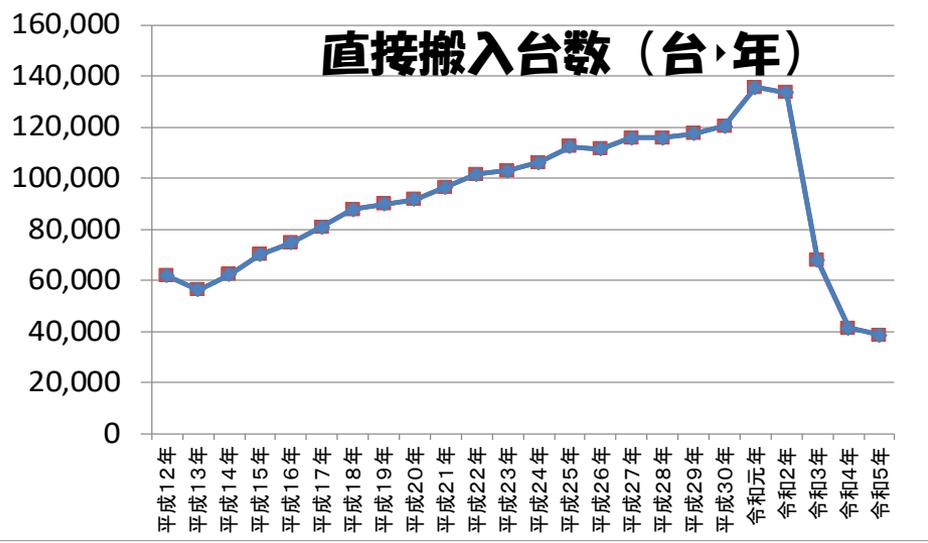
① 清掃事務所への直接搬入の状況



1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(6) 施設への直接搬入について

②リサイクルプラザへの直接搬入の状況



1. 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況【速報値】

(7) 取り残しごみの状況について

①令和5年度の不燃ごみ取り残し状況（収集できないごみ） ※単位：袋/月

- 1カ月間に取り残しとなる不燃ごみの袋数（月平均）は減少しているが、ごみ処理手数料見直し前の令和2年度と比較すると大きく増加している。

主な分別間違い

埋立ごみ

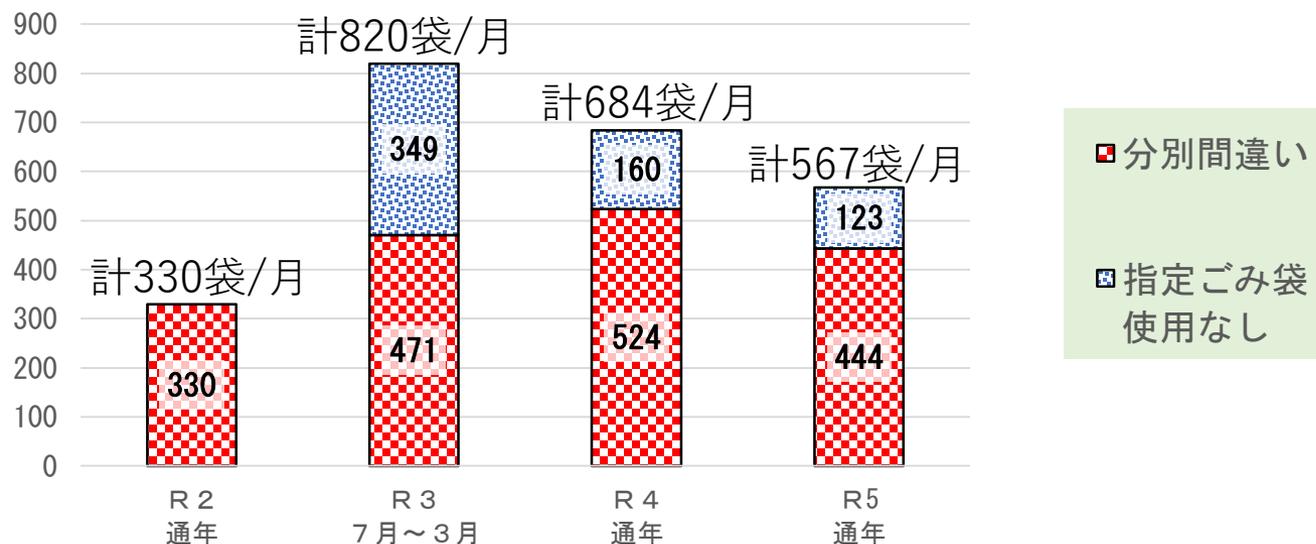
⇒可燃ごみが埋立ごみとして排出されているもの

プラスチック容器包装類

⇒プラスチック製品が混入しているもの

汚れのあるものが混入しているもの など

不燃ごみ収集で取り残しとなるごみ袋の数(月平均)



(8) 令和5年度のごみ減量・リサイクルの状況（まとめ）

①ごみ減量、リサイクルの状況について

- 令和3年7月のごみ処理手数料見直し後は、市民1人あたりのごみ排出量は減少しており、現状では減量効果は継続している（R12目標値達成）。
- ごみ総排出量が減少する中、総資源化量（リサイクルプラザ資源化量・古紙量・集団回収量）も減少しており、資源化率が下がっている。

②直接搬入について

- 直接搬入台数の減少により、施設周辺の交通渋滞は解消され、搬入量の受け入れによる施設の負担も軽減している。

③適正排出と取り残しごみについて

- 取り残しごみは減少傾向にある。そのうち、指定ごみ袋を使用していないケースは大きく減少しているが、分別間違いは横ばいである。
- 引き続き適正排出に向けて啓発するとともに、ごみの取り残し要因など、排出状況の把握に努める。

2. 令和5年度のごみ処理事業の概要について

(1) ごみ減量・資源化の啓発

(2) 清掃事務所の取り組み

(3) リサイクルプラザの取り組み

ペットボトルのリサイクルルートの見直し【ボトルtoボトル】

(4) 衣類リユースの施行的実施

(5) 一般廃棄物最終処分場の状況

2. 令和5年度のごみ処理事業の概要について

(1) ごみ減量・資源化の啓発

①舞鶴市ごみ分別ルールブックの全戸配布について

ごみ排出ルールの周知を図るため、令和4年度に引き続きごみ分別ルールブックの全戸配布を実施。

- 3月から、約3週間かけて配布。
- 配布数は38,900部。



②まいづる環境市民会議 循環型PT事業

- 絵本の配布を通して、物を大切に作る心やリユースの大切さを学んでもらうことを目的に環境フェスタ内で「えほんのリユース会」を開催。
※絵本は市内数か所の放課後児童クラブで読まなくなった本を募集し集まったものを配布。
- 小学生向け啓発チラシの作成。
(出前授業等で配布)



「えほんのリユース会」
(R5.12 赤れんが5号棟)

2. 令和5年度のごみ処理事業の概要について

(2) 清掃事務所の取り組み

①施設の老朽化による更新工事の概要 (令和元年～5年)

第1工場は整備から25年経過したことから、焼却設備（焼却炉内のレンガやガス冷却施設など）の基幹設備の更新を行った。

②施設の変更点

- 焼却炉の24時間運転により焼却処理能力は80 t / 日から120 t / 日に増加。
- 飛灰（排ガスに含まれるばいじん）のリサイクル（R5年11月開始）。
- 第2工場は休炉。

③省エネ実績

(R5.1～3月とR6.1～3月での比較)

- 重油使用料 ⇒ 約80%減
- 電気使用量 ⇒ 約16%減
- 灰排出量 ⇒ 約30%減



ジェットパック車による飛灰の搬出・輸送

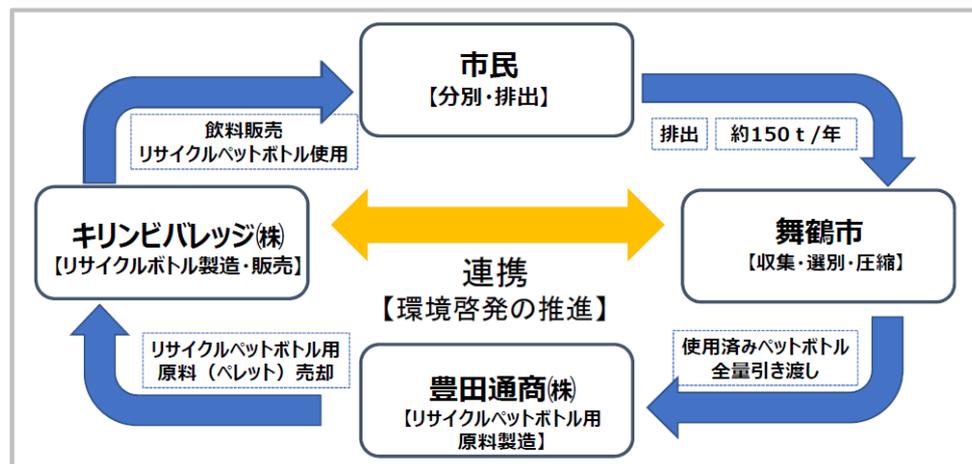


2. 令和5年度のごみ処理事業の概要について

(3) ペットボトルのリサイクルルートの見直し【ボトルtoボトル（水平リサイクル）】

①水平リサイクル事業を開始

令和5年3月に、豊田通商株式会社・キリンビバレッジ株式会社・舞鶴市の3者が協力して、舞鶴市が分別収集する使用済みペットボトルを安定的にペットボトルとして水平リサイクルすることにより、環境にやさしい持続可能な循環型社会の実現に資することを目的に協定を締結し、4月から事業開始。



②令和5年度実績

I 豊田通商への引き渡し数量131 t

⇒大まかなめやすとして、500mlのペットボトル容器 約1,000万本分
⇒バージンペット原料を使用した場合と比較すると、二酸化炭素量で約430 t 削減（推計値）

II キリンビバレッジと環境学習の連携

⇒岡田小学校と由良川小学校の2校で「市によるごみ減量・資源化の啓発」+「キリンビバレッジのオンライン工場見学」を組み合わせ実施。

2. 令和5年度のごみ処理事業の概要について

(4) 衣類リユースの試行的実施

①本市での実施の背景

- ▼本市では衣類は100%焼却。家庭から出る可燃ごみの4.2%、約500 tが衣類・布類と推計されている。
- ▼衣類のリユース、リサイクルは都市部では行われているが、地方部では運搬費用がかかるため採算性が低く、リサイクルルートの開拓が課題であった。
- ▼この状況を解決するため、衣類のリユース・リサイクルルートの構築と定着を目指し試行的実施するもの。

②事業概要

- ▼令和6年3月に、清掃事務所に衣類回収ボックスを設置し、4月から市と協定書を締結した資源回収業者がリユース・リサイクル可能な衣類を回収。民間事業者を通じて、リユース・リサイクルするもの。
- ▼回収した衣類の量や品質を検証するため1年間試験的に実施し、令和7年度以降の事業継続について検討する。



2. 令和5年度のごみ処理事業の概要について

(5) 一般廃棄物最終処分場の状況



供用開始:令和4年度
処理能力:埋立ごみ容量10万 m^3
水処理能力100 t /日
供用期間:約15年間

①舞鶴市一般廃棄物最終処分場 新処分場の供用

・年間埋立量 (実績)

令和5年度 3,458.0 m^3 (R2比 3,026.0 m^3 減、46.77%減)

(参考)

令和2年度 6,484.0 m^3

令和3年度 7,128.6 m^3 (最終覆土含む)

令和4年度 4,047.5 m^3

②社会見学の受け入れ

- ・小学校4校の見学を受け入れ。
- ・ごみの減量と最終処分場の供用年数との関わりについて説明。

3. 今後の取り組みについて

リサイクルプラザ長寿命化計画の策定

3. 今後の取り組みについて

①リサイクルプラザの長寿命化計画の策定

(1) 計画策定の目的

本施設は、供用開始より26年を経過し設備の老朽化が進んでおり計画的に機器更新を行うことにより施設の長寿命化を図る。

(2) 計画（スケジュール）

令和6年度

◎長寿命化計画策定

◎地域計画策定（R7～R11年度版）

令和7年度

◎工事实施設計

令和8～12年度（5カ年）

◎工事实施期間

(3) 整備費用の財源

国の循環型社会形成推進交付金の活用を検討

⇒交付要件：製品プラー一括回収を盛り込んだ地域計画の策定が必要。

